

「スキルアップしたいけど時間がない」
「家族との時間を大事にしたい」
「趣味の時間も作りたい」
そんな方に

主催：世田谷区立経堂図書館  flier
本の要約サービス

第2回

フライヤー

flier要約読書会

読書時間
約10分

要約サービスflierで課題本の要約を読み、
その後グループで読書会を行います。

2月18日(火) 19:00 ~ 20:00

15分前受付開始

定員：10名(申込先着順)

持物：スマホかタブレット(パソコン席で申込みされた方は不要)

費用：無料

会場：経堂図書館ビジネスコーナー

講師：株式会社フライヤー

課題本：『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』三宅香帆著、集英社

 読む時間をイベント内に設定しているので、事前に読む必要はありません。

申込用紙

フリガナ
1. 氏名

[

]

2. 電話番号

[

]

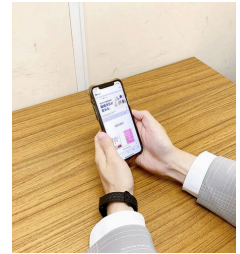
3. 当日のflier使用ツール(どちらかをチェック)

ご自身のスマホ・タブレットを使用 館内のパソコンを使用(先着3名)

※ ご記入いただいた個人情報は当イベントの運営にのみ使用し、イベント後は破棄いたします。

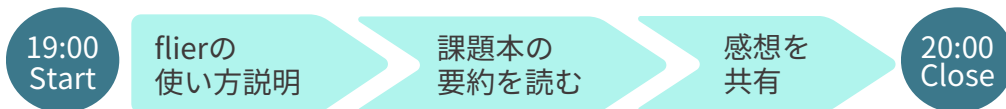
flier(フライヤー)とは

ビジネス書・教養書を中心とした要約配信サービスです。
1冊約10分(4000字程度)で読める要約を、著者・出版社チェックのもと毎日新しく公開しています(現在約3800冊)。
経堂図書館では、館内でご自身のスマホやタブレット等から専用Wi-Fiに接続することで無料でご利用いただけます。



要約読書会について

flier(フライヤー)の使い方の説明のあと、課題本の要約を読み、その後課題本の感想や意見をグループでシェアします。要約を読む時間を設けているので、予め読んでいなくても大丈夫。お気軽にご参加ください。



課題本の概要

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』 三宅香帆著、集英社

【人類の永遠の悩みに挑む!】

「大人になってから、読書を楽しめなくなった」「仕事に追われて、趣味が楽しめない」「疲れていると、スマホを見て時間をつぶしてしまう」……そのような悩みを抱えている人は少なくないのではないか。

「仕事と趣味が両立できない」という苦しみは、いかにして生まれたのか。

自らも兼業での執筆活動をおこなってきた著者が、労働と読書の歴史をひもとき、日本人の「仕事と読書」のあり方の変遷を辿る。

そこから明らかになる、日本の労働の問題点とは?

すべての本好き・趣味人に向けた渾身の作。

【目次】

まえがき 本が読めなかったから、会社をやめました

序章 労働と読書は両立しない?

第一章 労働を煽る自己啓発書の誕生—明治時代

第二章 「教養」が隔てたサラリーマン階級と労働者階級—大正時代

第三章 戦前サラリーマンはなぜ「円本」を買ったのか?—昭和戦前・戦中

第四章 「ビジネスマン」に読まれたベストセラー—1950~60年代

第五章 司馬遼太郎の文庫本を読むサラリーマン—1970年代

第六章 女たちのカルチャーセンターとミリオンセラー—1980年代

第七章 行動と経済の時代への転換点—1990年代

第八章 仕事がアイデンティティになる社会—2000年代

第九章 読書は人生の「ノイズ」なのか?—2010年代

最終章 「全身全霊」をやめませんか

あとがき 働きながら本を読むコツをお伝えします

この本の要約を
10分で読んで
みませんか

(出版社HPより引用)

《申込方法》 以下のいずれかの方法でお申込み下さい。

- 申込用紙(当チラシ表面)
ご記入のうえ経堂図書館カウンターへご提出下さい。
- 電話: 03-5451-0071
- FAX: 03-5450-1088